資料３

八戸市スポーツ推進計画の進捗状況について

○　基本方針

スポーツを「楽しみたくなるまち」の実現と「氷都八戸」の振興
～スポーツの力でさらなる元気な八戸に～

（基本目標）

（１）スポーツを「する」機会の充実

（目標達成のための施策）

- 誰もがアクセスできるスポーツ活動の促進　拡充
- スポーツを通じた健康増進　新規
- プロスポーツチーム等との連携による競技力の向上　拡充
- 八戸市体育館の建て替え等のスポーツ施設の適切な整備及び運営　拡充

（２）スポーツを「みる」文化の醸成による賑わいの創出と地域活性化

（目標達成のための施策）

- スポーツ観戦の促進によるスポーツをみる文化の醸成　新規
- スポーツ観戦を起点とする賑わいの創出　新規
- プロスポーツチームと地域産業の連携による地域経済の活性化　拡充
- スポーツ観戦と地域資源を組み合わせたスポーツツーリズムの促進　拡充

（３）スポーツを「ささえる」多様な人材の育成

（目標達成のための施策）

- スポーツをささえる多様な人材の育成と活動の場の確保　拡充
- 産学官連携によるスポーツをささえる体制の強化　新規
- 地域プロスポーツチーム等との連携による指導力の向上　拡充
- スポーツ・インテグリティの確保　新規

資料３

○　基本目標

（１）スポーツを「する」機会の充実

①基本目標達成のための施策の方向性

八戸市体育館の建て替え等のスポーツ施設の適切な整備及び運営を行い、子どもから高齢者までの多様な世代の誰もがアクセスできるスポーツ活動を促進し、スポーツを通じた健康増進を図るとともに、ヴァンラーレ八戸ＦＣ、東北フリーブレイズ、青森ワッツ及び八戸ダイムの本市を拠点に活動するプロスポーツチームとの連携及び競技環境の充実しているスケートやオリンピックメダリストを輩出しているレスリング等の本市のスポーツ資源を生かした競技力の向上を図る。

②目標達成のための施策

―１　誰もがアクセスできるスポーツ活動の促進 拡充

・子どもの体を動かす遊びからスポーツにつながる機会の充実 継続

親子が公園等の身近な場所で楽しめる子どもの身体を動かす遊びを促進するとともに、遊びから多様なスポーツにつながるきっかけづくりの充実を図る。

・地域スポーツクラブに関する情報の一元化 新規

誰もがスポーツに容易にアクセスしやすくするため、また、公立中学校における休日の部活動の地域移行等を見据え、市内地域スポーツクラブに関する情報の一元化を図る。

・ライフステージ等に応じたスポーツ活動の促進 新規

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う行動様式の変化により、スポーツをする機会の減少した働く世代、子育て世代、シルバー世代及び障がい者等に対して、スポーツをすることに関する喚起を図り、多様化するスポーツのニーズや、ライフステージ等に応じたスポーツ活動を促進する。

資料３

―２　スポーツを通じた健康増進 新規

・スポーツをしやすいまちづくりの推進 新規
　身近な場所で気軽にスポーツがしやすいまちづくりを推進する。

・生活の中のスポーツ活動の定着 新規
　生活の中にスポーツ活動が定着するようウォーキング及びサイクリング等の誰もがアクセスできる多様なスポーツ活動について啓発を図る。

・スポーツが健康に与える効果に関する情報発信 新規
　スポーツを行うことの必要性を広く普及するため、スポーツが健康に与える効果に関する情報の発信を図る。

―３　プロスポーツチーム等との連携による競技力の向上 拡充

・氷都八戸の振興 拡充
　ＹＳアリーナ八戸やフラット八戸の開場により、競技環境がより充実したスケート競技については、その強みをさらに生かしながら、競技力の向上を図る。

・レスリングのまち 八戸の振興 継続
　オリンピックメダリストを輩出しているレスリング競技については、メダリスト等のトップアスリートから直接指導をうけることが可能であり、その強みをさらに生かしながら、競技力の向上を図る。

・地域プロスポーツチーム等との連携 拡充
　ヴァンラーレ八戸ＦＣ、東北フリーブレイズ、青森ワッツ及び八戸ダイムの本市を拠点に活動するプロスポーツチーム等との連携により、アイスホッケー、サッカー、バスケットボール及び３ｘ３等の多様なスポーツの競技力の向上を図る。

―４　八戸市体育館の建て替え等のスポーツ施設の適切な整備及び運営 拡充

・八戸市体育館の建て替え 新規
　八戸市体育館の建て替えについては、令和８年度からの設計着手、そして、建て替えという流れを目指して進めており、その着実な推進を図る。

・スポーツ施設の適切な整備 拡充

平成 31 年３月に策定した八戸市体育施設整備に関する基本方針に基づきながら、令和８年に開催予定の第 80 回国民スポーツ大会に必要なスポーツ施設の改修等適切な整備を図る。

・誰もがアクセスしやすいスポーツ施設の運営 拡充

スポーツ施設を良好に維持しながら、管理するとともに、誰もがアクセスしやすいスポーツ施設の運営を促進する。

③実施中の事業

・ジュニアアイスホッケー交流事業　　単位：千円

事業内容	苫小牧市のアイスホッケージュニア選抜チームとの交流試合等を通じて、両市の連携・交流を推進				
決算額	Ｒ元年度	Ｒ２年度	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度
	751	37	19	19	342
	Ｒ６年度	Ｒ７年度	Ｒ８年度	Ｒ９年度	Ｒ10 年度
	182	0			

※Ｒ７年度は 12/８の地震による事業中止のため執行なし。

・スポーツ賞等表彰事業　　単位：千円

事業内容	本市スポーツの振興・発展に貢献した個人・団体を表彰				
決算額	Ｒ元年度	Ｒ２年度	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度
	225	237	238	259	150
	Ｒ６年度	Ｒ７年度	Ｒ８年度	Ｒ９年度	Ｒ10 年度
	232	207			

・レスリングのまち推進事業　　単位：千円

事業内容	かおりカップスーパーキッズレスリング選手権大会を青森県レスリング協会と共同で開催				
決算額	Ｒ元年度	Ｒ２年度	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度
	27	0	231	3	686
	Ｒ６年度	Ｒ７年度	Ｒ８年度	Ｒ９年度	Ｒ10 年度
	686	686			

資料３

・スポーツ少年団運営支援事業　　単位：千円

事業内容	スポーツ少年団対抗のスポーツ少年大会の運営に要する経費の一部を補助				
決算額	Ｒ元年度	Ｒ２年度	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度
	180	243	67	149	0
	Ｒ６年度	Ｒ７年度	Ｒ８年度	Ｒ９年度	Ｒ10年度
	0	66			

・地区体育振興事業　　単位：千円

事業内容	八戸市スポーツ協会が行う地区体育振興事業に要する経費の一部を補助				
決算額	Ｒ元年度	Ｒ２年度	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度
	280	233	230	270	280
	Ｒ６年度	Ｒ７年度	Ｒ８年度	Ｒ９年度	Ｒ10年度
	280	280			

・氷都八戸パワーアッププロジェクト　　単位：千円

事業内容	小学校スケート教室等への指導者派遣、スケート教室の開催及び中学競技者のスケート用具の購入に要する経費の一部を補助				
決算額	Ｒ元年度	Ｒ２年度	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度
	2,494	1,745	2,471	3,118	3,270
	Ｒ６年度	Ｒ７年度	Ｒ８年度	Ｒ９年度	Ｒ10年度
	3,384	3,051			

・各種スポーツ大会運営補助事業　　単位：千円

事業内容	市総合スポーツ大会の開催及び市内で開催される全国大会の開催に要する経費の一部を補助				
決算額	Ｒ元年度	Ｒ２年度	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度
	3,038	278	200	1,961	4,282
	Ｒ６年度	Ｒ７年度	Ｒ８年度	Ｒ９年度	Ｒ10年度
	4,621	2,178			

資料３

・競技大会選手等派遣補助事業　　単位：千円

事業内容	国際大会や全国大会及び市町村対抗県民スポーツ大会や北奥羽総合体育大会への派遣費用の一部を補助				
決算額	Ｒ元年度	Ｒ２年度	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度
	4,310	90	215	1,570	4,330
	Ｒ６年度	Ｒ７年度	Ｒ８年度	Ｒ９年度	Ｒ10年度
	3,987	5,086			

・第80回国民スポーツ大会事業　　単位：千円

事業内容	開催に向けた各種準備				
決算額	Ｒ元年度	Ｒ２年度	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度
	―	―	0	16,532	2,461
	Ｒ６年度	Ｒ７年度	Ｒ８年度	Ｒ９年度	Ｒ10年度
	33,387	182,713			

※Ｒ６、Ｒ７年度はスポーツ振興課から分離した国民スポーツ大会準備室（Ｒ７年度から国スポ・障スポ推進室に改名）による執行

・フラットアリーナ利用促進事業　　単位：千円

事業内容	ＸＳＭ　ＦＬＡＴ八戸株式会社との間で締結した協定書に基づき、営業時間のうち2,500時間を市が借上げ、市民に貸し出し				
決算額	Ｒ元年度	Ｒ２年度	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度
	―	110,000	110,000	110,000	110,000
	Ｒ６年度	Ｒ７年度	Ｒ８年度	Ｒ９年度	Ｒ10年度
	110,000	110,000			

・スポーツによる人・健康・まちづくり推進協議会運営事業　　単位：千円

事業内容	スポーツによる人・健康・まちづくり推進協議会を開催し、八戸市スポーツ推進計画の進行管理等実施				
決算額	Ｒ元年度	Ｒ２年度	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度
	―	―	―	84	229
	Ｒ６年度	Ｒ７年度	Ｒ８年度	Ｒ９年度	Ｒ10年度
	417	81			

資料３

・スポーツコミッション支援事業　　単位：千円

事業内容	産業経済団体、スポーツ団体及び市の 13 団体で令和４年４月に創設しており、合宿補助金等を交付				
決算額	Ｒ元年度	Ｒ２年度	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度
	―	―	―	5,240	5,619
	Ｒ６年度	Ｒ７年度	Ｒ８年度	Ｒ９年度	Ｒ10 年度
	3,505	3,591			

・スポーツ施設整備事業　　単位：千円

事業内容	市内スポーツ施設の整備等を実施				
決算額	Ｒ元年度	Ｒ２年度	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度
	110,014	68,401	88,400	91,709	45,277
	Ｒ６年度	Ｒ７年度	Ｒ８年度	Ｒ９年度	Ｒ10 年度
	159,332	184,559			

・新体育館整備事業　　単位：千円

事業内容	令和４年度に策定した「八戸市体育館の建て替えに関する基本構想」に基づき、基本計画等を策定				
決算額	Ｒ元年度	Ｒ２年度	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度
	―	―	255	299	26,294
	Ｒ６年度	Ｒ７年度	Ｒ８年度	Ｒ９年度	Ｒ10 年度
	10,088	30,299			

・施設の維持管理経費　　単位：千円

事業内容	市内スポーツ施設の維持管理を実施				
決算額	Ｒ元年度	Ｒ２年度	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度
	653,791	654,981	657,731	655,960	683,409
	Ｒ６年度	Ｒ７年度	Ｒ８年度	Ｒ９年度	Ｒ10 年度
	712,730	718,406			

④数値目標　　単位：人

スポーツ施設利用者数	Ｒ元年度	Ｒ５年度	Ｒ６年度	Ｒ７年度	目標値
	1,057,621	997,767	1,054,177	1,080,730	1,300,000
スポーツ各賞受賞者数	Ｒ元年度	Ｒ５年度	Ｒ６年度	Ｒ７年度	目標値
	14	22	32	25	20

※Ｒ６、Ｒ７年度は団体での受賞１件を含む。

（２）スポーツを「みる」文化の醸成による賑わいの創出と地域活性化

①基本目標達成のための施策の方向性

ヴァンラーレ八戸ＦＣ、東北フリーブレイズ、青森ワッツ及び八戸ダイムの本市を拠点に活動するプロスポーツチーム等のスポーツ観戦の促進によるスポーツをみる文化の醸成を図るとともに、プロスポーツチーム等のスポーツ観戦を起点とする賑わいの創出、プロスポーツチームと地域産業の連携による地域経済の活性化、さらには、プロスポーツチーム等のスポーツ観戦と観光・文化等の地域資源を組み合わせたスポーツツーリズムの促進を図る。

②目標達成のための施策

―１　スポーツ観戦の促進によるスポーツをみる文化の醸成 新規

・プロスポーツチームのホーム戦等の観戦促進 新規

ヴァンラーレ八戸ＦＣ、東北フリーブレイズ、青森ワッツ及び八戸ダイムの本市を拠点に活動するプロスポーツチームとの連携を深化し、ホームゲームの観戦をより促進します。また、国民スポーツ大会等の全国規模の大会について、広く周知に努め、スポーツを「みる」ことに対する関心を高める。

・プロスポーツチームのホームゲーム等を「みる」文化の醸成 新規

プロスポーツチームのホームゲーム等の観戦を促進しながら、日常的にスポーツを「みる」文化の醸成を図る。

―２　スポーツ観戦を起点とする賑わいの創出 新規

・プロスポーツチームのホームゲーム等開催時の賑わいの創出 新規

プロスポーツチーム等と連携し、ホームゲーム等開催時の賑わいの創出、さら

には、増大を促進するとともに、飲食店等との連携により、ホームゲーム等の観戦前後にも新たな賑わいが試合会場以外でも創出されるよう促進する。

・プロスポーツチームに関する持続的で日常的な賑わいの醸成 新規
　プロスポーツチーム等と連携し、プロスポーツチームのホームゲーム等開催時だけではなく、持続的で日常的な賑わいの醸成に努める。

―３　プロスポーツチームと地域産業の連携による地域経済の活性化 拡充

・プロスポーツチームと地域産業の新たな連携 継続
　プロスポーツチームと多様な産業が集積する八戸の産業力を生かした連携による新たな地場産品の開発を促進する。

・プロスポーツチームと地域産業との連携による地場産品の販売促進 拡充
　プロスポーツチームと地域産業との連携による地場産品については、ホームゲーム開催時だけではなく、市内外への販売を促進するとともに、チームの魅力発信につながるよう促進する。

―４　スポーツ観戦と地域資源を組み合わせたスポーツツーリズムの促進 拡充

・地域資源との組み合わせによるスポーツツーリズムの促進 継続
　プロスポーツチームのホームゲーム等のスポーツ観戦と観光・文化・するスポーツ等の地域資源との組み合わせによるスポーツツーリズムを促進する。

・スポーツツーリズムを起点にした地域経済の活性化 新規
　スポーツツーリズムを起点に八戸圏域内の回遊性を高め、観光振興を図るとともに、飲食や宿泊等の需要を喚起し、地域経済の活性化につなげる。

③実施中の事業

・地域スポーツチーム応援事業　　単位：千円

事業内容	プロスポーツチームのホーム戦に市内小学生を無料招待する八戸市民キッズデー等を実施				
決算額	Ｒ元年度	Ｒ２年度	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度
	6,695	11,879	10,899	5,564	2,027
	Ｒ６年度	Ｒ７年度	Ｒ８年度	Ｒ９年度	Ｒ10年度
	2,427	2,875			

・ジュニアアイスホッケー交流事業（再掲）
・スポーツによる人・健康・まちづくり推進協議会運営事業（再掲）
・スポーツコミッション支援事業（再掲）
・スポーツ施設整備事業（再掲）
・新体育館整備事業（再掲）
・施設の維持管理経費（再掲）

④数値目標

	Ｒ元年	Ｒ５年	Ｒ６年	Ｒ７年	目標値
ﾌﾟﾛｽﾎﾟｰﾂ観戦者数	51,451 人	66,531 人	74,681 人	115,474 人	53,000 人
ｱﾏｽﾎﾟｰﾂも含めたｽﾎﾟｰﾂ観戦率	29.5%	57.1%	43.5%	46.8%	27.0%

※Ｒ７年の観戦者数は、Ｊ2・Ｊ3 百年構想リーグ（Ｒ８年２月～６月）の観戦者数 24,423 人を含む。

（３）スポーツを「ささえる」多様な人材の育成

①基本目標達成のための施策の方向性

スポーツ・インテグリティの確保を図りながら、スポーツをささえる多様な人材の育成と活動の場を確保するとともに、産学官連携によるスポーツをささえる体制の強化を図り、さらには、東北フリーブレイズ、ヴァンラーレ八戸ＦＣ、青森ワッツ及び八戸ダイムの本市を拠点に活動するプロスポーツチーム等との連携による指導力の向上を促進する。

②目標達成のための施策

―１　スポーツをささえる多様な人材の育成と活動の場の確保 拡充

・競技スポーツをささえる多様な人材の育成と活動の場の確保 継続

八戸市スポーツ協会や各種スポーツ競技団体、さらには、プロスポーツチームとも連携し、競技スポーツをささえる多様な人材の育成と活動の場の確保を図る。

・地域スポーツをささえる多様な人材の育成と活動の場の確保 新規
　八戸市スポーツ協会、八戸市スポーツ少年団及び八戸市スポーツ推進委員協議会、さらには、地域体育振興会とも連携し、地域スポーツをささえる多様な人材の育成と活動の場の確保を図る。

・アスリートのセカンドキャリアの活用 継続
　本市を拠点にするプロスポーツチーム等のアスリートのセカンドキャリアに関する支援体制の構築を促進し、本市スポーツをささえる多様な人材の確保につなげる。

―２　産学官連携によるスポーツをささえる体制の強化 新規

・学との連携によるささえる体制の強化 新規
　大学等の有するスポーツ資源を生かしながら、スポーツ競技団体とも連携を図り、スポーツをささえる体制の強化を図る。

・産業との連携によるさらなる大会・合宿の誘致のための体制の強化 新規
　令和４年４月に創設した八戸スポーツコミッションの体制を拡充し、ＹＳアリーナ八戸やフラット八戸等の特徴的なスポーツ施設を生かしたさらなるスポーツの大会・誘致のためのささえる体制の強化を図る。

―３　地域プロスポーツチーム等との連携による指導力の向上 拡充

・プロスポーツチームとの連携による指導力の向上 新規
　本市を拠点にするプロスポーツチーム等との連携による指導力の向上を促進する。

・スポーツ競技団体との連携による指導力の向上 拡充
　オリンピアン等を輩出しているスポーツ競技団体等との連携による指導力の向上を促進する。

―４　スポーツ・インテグリティの確保 新規

・スポーツ競技団体のガバナンスの強化 新規
　八戸市スポーツ協会及び八戸市スポーツ少年団とも連携し、スポーツ競技団体のガバナンスの強化が図られるよう支援する。

・スポーツ競技団体のコンプライアンスの徹底 新規

八戸市スポーツ協会及び八戸市スポーツ少年団とも連携し、スポーツ競技団体のコンプライアンスが徹底されるよう支援する。

③実施中の事業

・スポーツ推進委員研修事業　　単位：千円

事業内容	スポーツ基本法に基づき、委員を 42 名に委嘱しており、その研修や小学校等へのスポーツの指導のための派遣等を実施				
決算額	Ｒ元年度	Ｒ２年度	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度
	973	735	505	687	1,294
	Ｒ６年度	Ｒ７年度	Ｒ８年度	Ｒ９年度	R10 年度
	769	619			

・スポーツ賞等表彰事業（再掲）
・地区体育振興事業（再掲）
・各種スポーツ大会運営補助事業（再掲）
・スポーツによる人・健康・まちづくり推進協議会運営事業（再掲）
・スポーツコミッション支援事業（再掲）
・スポーツ施設整備事業（再掲）
・新体育館整備事業（再掲）
・施設の維持管理経費（再掲）

④数値目標

	Ｒ元年度	Ｒ５年度	Ｒ６年度	Ｒ７年度	目標値
スポーツ少年団における有資格者の割合	62.5%	60.0%	47.6%	52.6%	70%

資料３

○　現状

（１）市の人口の推移

①人口の推移（各年度３月 31 日現在）　単位：人

R元年度	R２年度	R３年度	R４年度	R５年度
226, 541	224, 617	222, 173	219, 733	216, 596
R６年度	R７年度			
213, 735	211, 133			

②世代別人口の推移（各年度３月 31 日現在）　単位：人

	R元年度	R２年度	R３年度	R４年度	R５年度
０～14 歳	26, 228	25, 725	24, 990	24, 261	23, 450
15～64 歳	131, 196	128, 957	127, 077	125, 397	122, 921
65 歳以上	69, 117	69, 935	70, 106	70, 075	70, 225
合計	226, 541	224, 617	222, 173	219, 733	216, 596
	R６年度	R７年度	R８年度	R９年度	R10 年度
０～14 歳	22, 604	21, 797			
15～64 歳	120, 950	119, 011			
65 歳以上	70, 181	70, 325			
合計	213, 735	211, 133			

③小学校児童数の推移（各年度５月１日現在）　単位：人

R元年度	R２年度	R３年度	R４年度	R５年度
10, 944	10, 791	10, 707	10, 530	10, 418
R６年度	R７年度	R８年度	R９年度	R10 年度
10, 083	9, 821			

④中学校生徒数の推移（各年度５月１日現在）　単位：人

R元年度	R２年度	R３年度	R４年度	R５年度
5, 886	5, 758	5, 756	5, 606	5, 517
R６年度	R７年度	R８年度	R９年度	R10 年度
5, 508	5, 409			

⑤高等学校生徒数の推移（各年度５月１日現在）　単位：人

	R元年度	R２年度	R３年度	R４年度	R５年度
全日制	7, 556	7, 279	7, 090	6, 973	6, 882
定時制・通信制	526	594	631	661	700
	R６年度	R７年度	R８年度	R９年度	R10 年度
全日制	6, 888	6, 713			
定時制・通信制	746	739			

資料３

（２）スポーツ施設の利用状況

市内スポーツ施設の利用者数　　単位：人

	Ｒ元年度	Ｒ２年度	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度
長根公園	354,137	259,833	251,920	319,981	373,733
東運動公園	218,318	112,765	114,662	150,880	165,831
新井田公園	78,210	61,462	59,669	72,019	87,238
屋内トレーニングセンター	92,680	60,871	44,968	62,508	72,752
南部山健康運動公園	97,111	60,800	55,044	72,198	87,352
南郷カッコーの森エコーランド	100,279	62,237	61,140	79,218	94,874
多賀多目的運動場	116,886	67,083	67,214	97,677	115,987
合計	1,057,621	685,051	654,617	854,481	997,767
	Ｒ６年度	Ｒ７年度	Ｒ８年度	Ｒ９年度	Ｒ10年度
長根公園	404,745	407,788			
東運動公園	173,636	148,511			
新井田公園	92,563	96,626			
屋内トレーニングセンター	77,933	81,524			
南部山健康運動公園	93,627	98,522			
南郷カッコーの森エコーランド	93,783	99,739			
多賀多目的運動場	117,890	148,020			
合計	1,054,177	1,080,730			

資料３

○　八戸の強み

（１）氷都八戸

本市は、日本の北部に位置しながら、日照時間が長く、雪が少ないことから、古くからスケートが盛んに行われており、市民の生活に密着したスポーツとして、親しまれている。

平成 27 年度からは、市の風土に根差したスポーツであるスケートに親しむ環境を醸成しながら、競技人口の増加と競技力の向上を図ることを目的に、氷都八戸パワーアッププロジェクトに取り組んでおり、また、令和元年９月には、400ｍダブルトラック等を有するＹＳアリーナ八戸、令和２年４月には、新たな形の官民連携により、アイスホッケー等用のアイスアリーナを有するフラット八戸が開場したこともあり、競技人口は増加傾向にある。

（氷都八戸パワーアッププロジェクト）

①幼稚園・保育園及び小学校のスケート教室に対する指導者派遣

・延べ受講者数　　単位：人

Ｒ元年度	Ｒ２年度	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度
4, 150	5, 098	4, 060	6, 819	8, 271
Ｒ６年度	Ｒ７年度	Ｒ８年度	Ｒ９年度	Ｒ10 年度
8, 027	8, 057			

②八戸市スケート教室の開催

・参加者数　　単位：人

	Ｒ元年度	Ｒ２年度	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度
スピードスケート	210	143	150	153	150
フィギュアスケート	―	―	91	90	103
	Ｒ６年度	Ｒ７年度	Ｒ８年度	Ｒ９年度	Ｒ10 年度
スピードスケート	147	134			
フィギュアスケート	112	101			

※Ｒ２年度からスピードスケート教室の定員を 150 人に変更

③中学競技者に対するスケート競技用具購入補助金の交付

補助率１/３

補助上限　スピードスケート靴 30,000 円

フィギュアスケート靴 30,000 円

アイスホッケー用スティック 10,000 円

（２）４つのプロスポーツチームの拠点

本市では、平成 18 年創設のＪ３リーグ　ヴァンラーレ八戸ＦＣ、平成 20 年創設のアジアリーグアイスホッケー　東北フリーブレイズ、平成 24 年創設のＢ２リーグ　青森ワッツ、平成 30 年創設の３×３　八戸ダイムの４つのプロスポーツチームが、本市を拠点として活動している。

①ヴァンラーレ八戸ＦＣ（サッカー）

（観戦者数）　単位：人

Ｒ元年	Ｒ２年	Ｒ３年	Ｒ４年	Ｒ５年
29,919 (17 試合)	11,316 (17 試合)	15,922 (14 試合)	25,553 (17 試合)	35,916 (19 試合)
Ｒ６年	Ｒ７年	Ｒ８年―９年	Ｒ９年―10 年	Ｒ10 年―11 年
38,395 (21 試合)	48,238 (20 試合)			

※参考…Ｊ2・Ｊ3 百年構想リーグ（Ｒ８年２月～６月）は、24,423 人（11 試合）。

②東北フリーブレイズ（アイスホッケー）

（観戦者数）　単位：人

Ｒ元年―２年	Ｒ２年―３年	Ｒ３年―４年	Ｒ４年―５年	Ｒ５年―６年
15,518 (14 試合)	9,533 (14 試合)	9,438 (14 試合)	13,613 (18 試合)	15,305 (16 試合)
Ｒ６年―７年	Ｒ７年―８年	Ｒ８年―９年	Ｒ９年―10 年	Ｒ10 年―11 年
19,480 (18 試合)	20,096 (19 試合)			

資料３

③青森ワッツ（バスケットボール）

（観戦者数）　　単位：人

R元年―２年	R２年―３年	R３年―４年	R４年―５年	R５年―６年
6, 014 （６試合）	4, 004 （６試合）	3, 632 （６試合）	4, 395 （４試合）	4, 656 （４試合）
R６年―７年	R７年―８年	R８年―９年	R９年―10 年	R10 年―11 年
4, 047 （2 試合）	3, 621 （2 試合）			

④八戸ダイム（３×３）

（観戦者数）　　単位：人

R元年	R２年	R３年	R４年	R５年
―	―	2, 311 （１試合）	5, 576 （２試合）	10, 654 （３試合）
R６年	R７年	R８年	R９年	R10 年
12, 759 （２試合）	19, 096 （４試合）			